

べき畫には『樹蔭』(田邊至)、『ひがん花』(清水良雄)、『椽さき』(森岡柳藏)、『庭の木蔭』(大久保作次郎)、『食後』(渡邊ふみ子)がある。が、『庭の木蔭』を除いては、他は如何にも手致が幼くて、何等の強い印象を残さない。殊に『椽さき』では、着物の上からのみ見て、眞に子供の骨格の研究に乏しい一般子供繪の弱點があらはれて居る。『庭の木蔭』は庭の木蔭といふイメージな、ふだんの感じがよく出て居る。此のふだんの感じといふことは、子供繪には極めて必要なる一つの條件であつて、子供は、よそいきにしなければ繪にならぬとでもいふ様な思ひ違ひは、子供繪の發達に甚だ有害なものである。衣裳、動作に於ては勿論、氣分そのものに於て、ふだんの處に子供の美を發見し得ないものは、子供を描く資格はない。此の作は此の點に於て近來珍しい出色の畫であるといつてよい。

## ○上野氏『學校兒童精神検査法指針』

文學士上野陽一氏の新著『學校兒童精神検査法指針』は兒童研究の方法を懇切に示した近來の好著である。兒童研究、兒童研究と呼んでも、要は實際の兒童研究が多く行はれなければならぬとして、それには、正確なる研究法の指針が是非とも必要である。此の書は實に此の要求に應ずるもの、上野學士の手際よき叙述を以て、充分に其の目的を達して居る。學校兒童と題しては、あるが、幼兒研究にも亦無論適用せられる。各幼稚園に必携の書の一つとして、廣く推擧する。(東京市外上駒込、心理學研究會出版部發行、定價金六拾五錢)

## 雜錄

### ○福島縣保育大會

福島縣保育大會は十月廿二日午前九時半より郡山子守教場に於て開會せられた、是れより前き出席員は午前八時より郡山幼稚園の實地保育を參觀し、少憩、この間參考品展覽會の縦覽あり、後開會したが、此日天晴れ氣清く心氣又頗る爽快、當番郡山幼稚園々長慶徳多一氏開會の辭に兼ねて諸報告を爲し、來賓遠藤安積郡長及出席員須藤二本

松幼稚園長原喜多方幼稚園長の祝辭があつた。

## ▲協議題

一、保姆養成と保姆檢定とに關し縣當局と交渉の件(若松幼稚園提出)

に移り、松山理事の説明あり、福島、二本松、喜多方等の質問あり、延期、巡廻講習、撤回等の説出で若松は、延期に依りて財政に餘裕を生ずるものにあらずれば本年位に實行したしと希望し、須賀川よりも一日も早くとの賛成あり、熟考の後午后結果を報告すべしとて少憩、中食、午後一時半再開、須藤二本松園長より内議の結果、提案を成るべく實行することに決定せる旨を報告、右終つて保育參觀批評會に移れるも別に批評者無きを以て直ちに

## ▲研究題

一、各組の擔任保姆を一週交代にするの可否

(福島幼稚園提出)

に移り須子氏より説明あり原氏より可否を嚴格に區別するの必要なべしとの意見あり次で

二、保育滿了附近に於ける幼兒の躰方につき注意の點如何(福島)

須子氏の説明あり、別に意見なし

三、附添と幼兒との關係につき注意事項保育時間内に於ける附添人の取締方法如何(若松)

海老名氏の説明、二三の意見

四、縣下に於て標準的保育細目を作製する可否(郡山)

慶徳園長會長席に付き附議、出題者若松幼稚園海老名元子氏の説明がある原氏より斯る問題に就ては郡視學の出席方を取り計らはるれば幸甚との意見を述べ遠藤郡長より郡視學は學事視察のため他出せるを演べ、郡當局も諸君の熱誠なる會合を感謝すればとて議事を繰り合せて出席する旨を陳じ決して冷淡なるにあらざるを演べ、原氏頗る満足の意を表し、茲に協議は一進して當番幹事に於て

縣當局に協議することに決定、次で

二、幼兒入園の際並に保育満了の際に於ける心身發達の程度並に行狀嗜好性癖等を調査して參考に資するの必要なきか、若しありとせば本會に於て一定の項目様式を調査し明年度より實施するの可否如何(二本松幼稚園出題)

に移る提出者の説明に次で宗形福島幼稚園長より其目的に就ての質問あり、提出者の説明、原氏の意見等あり、宗形氏の修正説出て、結局福島、二本松郡山の三幼稚園に於て修正提案を各幼稚園に送付することに決定、次に

三、本縣下に保育講習會開催の件(郡山幼稚園提出)

松山理事の説明、二三問答の上、福島、二本松、郡山の三委員に於て細目を要目と改めて着手することに決定、

五、幼兒に賞與として物品を與ふるの可否(喜多方)

原氏の説明あり、郡山幼稚園の説明を可とし

六、下流社會の幼兒をして中流社會の幼稚と同じく作法的動作に屬する善習慣的行爲を徹底せしむる方法如何(喜多方)

原氏の説明、二三の意見交換あり次に

### ▲談話題

一、各園に於ける身體検査の全國の標準に比せる結果承りたし

二、智力検査の方法並に實驗談承はりたし

三、活動寫眞を絶対に禁じたし各園の御意見如何(三題福島)

四、雷鳴時に於ける幼兒の處置につき御經驗承りたし

五、競争に屬する團體遊戲に際し特に注意すべき點を承りたし(二題若松)

六、個人的保育法を實施して良結果を收めたる實驗談承りたし

七、保育室に於ける幼児の排列は如何なる形式によるを最も適當とするか

八、毎朝會集の際に於ける有効なる保育法承りたし

九、幼児保育上特に注意すべき躰上の要目承りたし。(四題二本松)

十、内遊の際(冬季又は雨天の際)に於ける自由遊戯の種類及其の指導法承りたし(郡山)

十一、恩物の使用法に就て

十二、出席を好まざる幼児をして出席するに至らしめたる實驗談を承りたし(二題喜多方)

何づれも有益なる談話にて各自得る處尠なからず右終つて休憩中記念の撮映あり續いて

## ▲實驗談

一、おひな遊びに就て

福島幼稚園主任保母 須子 とみ

二、玩具に就て

二本松幼稚園主任保母 安藤 ふく  
三、大人じみたる幼児の取扱に就て

郡山幼稚園主任保母 松山 いね

に移る、須子、安藤兩氏の談あり、松山氏の實驗談を聞くに至らずして時間の都合上次回開會地を協議し、中通、桑折、福島、二本松、須賀川、白河に於て決定報告すること、して閉會を告ぐ、時に午后四時半因に當日の出席會員左の如し

桑折幼稚園長安藤政輝△保母引地キク福島幼稚

園長宗形二郎△保母須子トミ、高橋ヤイ、中村

静江△二本松幼稚園長須藤由一郎△保母安藤フ

ク、須賀トミ、齊藤シヅ△須賀川幼稚園長杉原

助△理事石丸常次郎△保母須郷ヒサ、岩間ウラ

△白河幼稚園保母小林タツ、目黒花、喜多方幼

稚園長原平藏、松崎フミ、廣岡敏子、高橋つな

△會津保育園長河井臥龍△保母増井芳子△若松

幼稚園主海老名元△保母八島千代子、中島キヨ

△郡山幼稚園長慶徳多一△理事松山政治△保母

松山イ子、柏木エツ、吉田直松、本ミツ△福島  
學校教員長谷川ノブ、澁川テイ

尙右閉會後參列有志者によりて唱歌遊戯の交換あ  
り、終つて午後七時より保育通俗講演會を開く、  
演頭左の如し。

一、開會を宜して保育の要に迫ふ

郡山幼稚園長 慶 徳 多 一

一、幼兒保育と宗教

會津保育院長 河 井 臥 龍

一、母のつとめ

郡山幼稚園理事 松 山 政 治

一、東郷大將の青年時代

茨城古河幼稚園長 丸 山 義 一

一、教育の效果

喜多方幼稚園長 原 平 藏

一、良 母

安積高等女學校長 安 藤 義 文

一、不幸兒の教育に就き

一、所 感

二本松幼稚園長 須藤由一郎

須賀川幼兒院長 杉 原 治 助

來聽者は何れも幼兒保護者及篤志者にて約七十名  
あり、十時半閉會

尙附設展覽會として會場の一部に各種の研究物、  
統計物、成績品及恩物、保育に關する圖書等を陳  
列したるが中々に趣味多く又研究資料として多大  
なる價值あり、參觀者に與へたる新智識の尠なか  
らざるべく規模小ながら實質に於て成功を見たる  
は悦ぶべし。

### ○フレーベル會總會

フレーベル會總會は十月二十九日午後一時より東京女子高等  
師範學校に開催せられ、出席者百餘名頗る盛會であつた。當日は  
講演、倉橋文學士の『滿鮮幼兒教育視察談』及び澤村文學士の『現  
代に於ける日本畫の潮流』があつたが、共に本誌上に其の筆記を  
掲載する筈である。

### ○大阪市保育會講習會

大阪市保育會にては、本月十一日より一週間、倉橋惣三氏を聘  
して、保育法に關する講習會を開催する由。